

中国情報（WTO/FTA・貿易・安全・その他）

2007年8月22日号

◎2007年7月大豆市場観測情報

【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2007年7月における大豆市場の観測情報について発表した。その概要は以下のとおりである。

1 主産地は深刻な干ばつ、大豆の生長に影響

7月は、黒龍江省中部・西部、内蒙古自治区東部の一部地域で、降水量が同年同時期の5割以上も少なく、干ばつが一層深刻となって大豆の生長に影響を与え、株の矮小化や幼莢の脱落、実のない莢などが増加し、虫害の発生も深刻であった。

2 上半期の大豆輸入はやや減少、大豆油輸入は増加

1～6月における中国の大豆の累計輸入量は、前年同期比1.5%減の1,385.3万トンとなった。同じく累計輸出量は、29.8%増の26.9万トンであった。また、大豆油の累計輸入量は同47.6%増の113.2万トン、累計輸出量は13.6%減の4.2万トンであった。大豆粕の累計輸出量は同2.0倍の41.9万トン、累計輸入量は96.5%減の2.1万トンであった。

3 世界の大豆生産量は減少、需給はひっ迫の方向へ

2007/08年度の世界の大豆生産量は、米国大豆は種面積が15.1%減となり、生産量が17.7%減少することなどから、前年度比5.9%減の2.22億トンと予測されている。消費量は同4.0%増の2.34億トン、年度の期末在庫量は同19.2%減の5,187万トンと見積もられ、世界の大豆需給はひっ迫に向かっている。

4 7月の国際大豆価格は高水準で変動、国内価格は高位安定

(1) 国際市場

7月上旬は、米国中西部の干ばつの影響を受け、国際大豆及び大豆粕価格は大幅に高騰したが、中旬以降は干ばつが緩和し、国際大豆及び大豆粕価格は下落に転じた。また、大豆油価格は、需要に支えられて上昇を続けた。7月25日までの米国シカゴ取引所における大豆先物価格指数は、1トン当たり313ドルで、前月比2.38%高、前年同月比40.0%高となった。大豆油価格は同832.2ドルで、前月比5.0%高、前年同月比37.6%高となった。大豆粕価格は同248.0ドルで前月並み、前年同月比30.2%高となった。

短期的には、米国大豆生産地の天候の変更が、国際大豆及び大豆製品価格の動きに影響を及ぼす主要因とされる。長期的には、米国など各国の大豆は種面積の減少及び世界的なバイオ燃料生産能力の増加などが、国際大豆価格を高水準に引き上げる要因とみられている。

(2) 国内市場

国産大豆価格は比較的安定して推移したが、大豆油及び大豆粕価格は、需要にけん引され上昇した。7月24日までの黒龍江省の搾油用大豆の買付価格は、1トン当たり2,994円で前月並み、前年同月比40.6%高となった。山東省の4級大豆油の工場出荷価格は同8,250円で、前月比4.4%高、前年比60.7%高となった。山東省の中等大豆粕の工場出荷価格は同2,462円で、前月比6.3%高、前年同月比19.6%高となった。輸入大豆が国内消費の主導的地位を占めることから、国産大豆価格は国産大豆価格の変化に連動する傾向にある。

(3) 輸入大豆価格は、国産大豆価格よりやや高水準

7月下旬の山東省の輸入大豆の通関渡し価格（Duty Paid：C I F＋関税等）は、同省の国産大豆買付価格に比べ、1トン当たり90元前後高かった。